

都市再生整備計画 モニタリングシート
北の防人大湊地区

平成26年4月

青森県むつ市

様式3 評価結果のまとめ

都道府県名	青森県		市町村名	むつ市		地区名	北の防人大湊地区		面積	510ha			
交付期間	平成23年度～平成27年度		事後評価実施予定時期	平成27年度	モニタリング実施時期	平成26年4月	交付対象事業費	1,397百万円	国費率	0.4			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施済み、実施中、実施予定の事業	基幹事業	事業名 道路【市道宇田水源地線、市道桜木町3号線、市道桜木町4号線、市道桜木町5号線、市道桜木町9号線】、公園【水源地公園(管理施設、園路、施設改修)】、地域生活基盤施設【北の防人大湊展望台ポケットパーク、北の防人大湊エントランスポケットパーク、広場(収蔵庫周辺、旧女子寮周辺、観光交流センター周辺)、情報板】、高次都市施設【観光交流センター】、既存建築物活用事業【地域交流センター(学習センター、収蔵庫、女子寮)】				事業進捗の状況(順調か、遅れているか) 既存建築物活用事業のうち、地域交流センター(収蔵庫)について、当該建築物の耐震化の検討が必要となったことから、事業の進捗が遅れている。						
		提案事業	地域創造支援事業【案内サイン、便益施設(観光交流センター、観光交流センター外構)、撤去(公園管理棟、小屋)】、事業活用調査【事業効果分析調査、オープンカフェ社会実験】、まちづくり活動推進事業【景観ルール策定ワークショップ、観光案内パンフレット作成】				—						
	当初計画から削除した事業	基幹事業	①道路【市道桜木町5号線(駐車場)】 ②道路【市道スキー場線(駐車場)】 ③道路【市道(自歩行道)】		削除/追加の理由 ①市道桜木町4号線への駐車場整備を追加したため ②市道桜木町4号線への駐車場整備を追加したため ③市道桜木町5号線への駐車場整備を削除したため		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 影響なし						
		提案事業	なし		—		—						
	新たに追加した事業	基幹事業	道路整備事業【市道桜木町4号線(駐車場)】		回遊性の高い公園中心部に駐車場を整備するため		影響なし						
		提案事業	なし		—		—						
交付期間の変更	当初	平成23年度～平成27年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		—							
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標1	北洋館入場者数	人/年	従前値		目標値		モニタリング		目標達成見込み	総合所見	今後の対応方針	
				基準年度	H21	10,400	H27	計測年度	H25				あり
	指標2	認識度調査アンケート	%	従前値		目標値		モニタリング		目標達成見込み	総合所見	今後の対応方針	
				基準年度	H22	75.0	H27	計測年度	H25				あり
指標3	イベント回数	回/年	従前値		目標値		モニタリング		目標達成見込み	総合所見	今後の対応方針		
			基準年度	H22	7	H27	計測年度	H25				あり	●
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1	—	—	従前値		目標値		モニタリング		目標達成見込み	総合所見	今後の対応方針	
				基準年度	—	—	—	計測年度	—				—
4)定性的な効果発現状況	—												
5)実施過程の評価	モニタリング	実施内容			実施状況				今後の対応方針等				
		各指標の目標値の達成状況を把握する。			都市再生整備計画に記載し、実施できた ● 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した ●				・毎年度、北洋館入場者数及びイベント回数を把握していく。 ・事業の促進により、重要文化財のPR活動を強化し、市民の関心を高め、認識度の向上を図る。				
	住民参加プロセス	対象地区における景観づくりを継続させるための景観ルールを策定するため、市民協働によるまちづくり手法として、ワークショップを開催する。			都市再生整備計画に記載し、実施できた ● 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した ● モニタリング時点では実施していない				・平成26年度に、素案をもとにワークショップ及びパブリックコメントを実施し、いただいた意見を参考にして、景観ルールを策定する。				
		持続的なまちづくり体制の構築			—				—				
6)モニタリングの所見	総合所見	順調 要改善	●	一部、進捗が遅れる事業があるが、その他の事業は概ね順調に進捗している。				今後の事業の改善点		・地域交流センター(収蔵庫)の耐震化の検討 ・地域交流センター(女子寮)の保存活用の検討(事業計画からの削除を検討)			

都市再生整備計画 モニタリングシート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 効果発現要因の整理

(4) モニタリングの所見

- 添付様式5-① まちの課題の変化
- 添付様式5-② 総合所見・今後の事業の改善点

(5) モニタリング原案の公表

- 添付様式6 モニタリング原案の公表

(6) 有識者からの意見聴取

- 添付様式7 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他()		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業											
事業	事業箇所名	当初計画		モニタリング時		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、 数値目標等への影響	モニタリング時の状況			今後の事業見込み
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			未着手	事業中	完成	
道路	市道宇田水源地線	11	L=70m	7	L=71m	設計内容の修正による事業費減	影響なし		●		H26完成予定
	市道桜木町3号線	38	L=300m	24	L=244m	設計内容の修正による事業費減	影響なし		●		H26完成予定
	市道桜木町4号線	38	L=300m	58	L=296m	より回遊性の高い公園中心部への 駐車場整備を追加したことによる事 業費増	影響なし		●		H27完成予定
	市道桜木町5号線	81	L=100m	12	L=111m	市道桜木町4号線への駐車場整備 の追加に伴い、本路線の駐車場整 備を削除したことによる事業費減	影響なし			●	計画通りに完成
	市道桜木町9号線	51	L=150m	49	L=140m	設計内容の修正による事業費減	影響なし	●			H26着手、H27完成予定
	市道スキー場線	31	A=1,000㎡	0	A=0㎡	平成25年に計画変更して削除 事業内容の精査及び市道桜木町4 号線への駐車場整備の追加に伴 い、本路線の駐車場整備を削除	影響なし				
	市道(自歩行道)小路	6	L=140m	0	L=0m	平成25年に計画変更して削除 市道桜木町5号線の駐車場整備 の削除に伴い、本駐車場と公園を結 ぶ本路線を削除	影響なし				
公園	水源池公園(管理施設・園路・施設改 修)	319	A=5.6ha	292	A=5.6ha	設計内容の修正による事業費減	影響なし		●		H27完成予定
地域生活基盤 施設	北の防人大湊展望台ポケットパー ク、北の防人大湊エントランスポケッ トパーク、広場(収蔵庫周辺、旧女子 寮周辺、観光交流センター周辺)、情 報板	171		213		設計内容の修正による事業費増	影響なし		●		H27完成予定
高次都市施設	観光交流センター	104	A=120㎡	195	A=392㎡	設計内容の修正による事業費増	影響なし		●		H26完成予定
既存建造物活 用事業	地域交流センター(学習センター)	92	A=280㎡	117	A=473㎡	設計内容の修正による事業費増	影響なし			●	計画通りに完成
	地域交流センター(収蔵庫)	112	A=300㎡	135	A=283㎡	設計内容の修正による事業費増	影響なし		●		H27完成予定
	地域交流センター(女子寮)	123	A=100㎡	116	A=321㎡	設計内容の修正による事業費減	影響なし	●			H27着手、H27完成予定

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業

事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、 数値目標等への影響	モニタリング時の状況			今後の事業見込み
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			未着手	事業中	完成	
地域創造 支援事業	案内サイン	20	N=39基	25	N=26基	設計内容の修正による事業費増	影響なし	●			H26着手、H27完成予定
	便益施設(観光交流センター)	157	A=180㎡	124	A=239㎡	設計内容の修正による事業費減	影響なし		●		H26完成予定
	便益施設(観光交流センター外構)	20	A=1,500㎡	9	A=617㎡	設計内容の修正による事業費減	影響なし		●		H26完成予定
	撤去(公園管理棟・小屋)	3		1		設計内容の修正による事業費減	影響なし	●			H27着手、H27完成予定
事業活用調査	事業効果分析調査	3		3	なし		—	●			H27着手、H27完成予定
	オープンカフェ社会実験	3		3	なし		—	●			H27着手、H27完成予定
まちづくり 活動推進事業	景観ルール策定ワークショップ	10		10	なし		—		●		H26完成予定
	観光案内パンフレット作成	4		4	なし		—	●			H27着手、H27完成予定

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業

事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	モニタリ ング時	当初計画	モニタリング時		
国道338号大湊Ⅱ期バイパス整備事業		桜木町、宇田町～大湊浜町	2,497	2,497	平成19年度～平成26年度	平成19年度～	事業中(完成年度未定)	
重要文化財建造物公開活用事業		旧大湊水源地道施設	0	15	—	平成24年度～平成25年度	予定どおり平成25年度で完了	

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と モニタリング値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		モニタリング (エ)		現段階での 目標達成 見込み		総合所見	今後の方針
			基準 年度	基準 年度	基準 年度	基準 年度	目標 年度	実施 年度	あり	なし				
指標1	北洋館入場者数	人/年	平成25年度の入場者数	—	—	5,577	H21	10,400	H27	8,843	H25	●	事業中であるため、効果は発現していない。	水源池公園周辺一帯の整備を促進し、観光資源としてPRすることにより、入場者数の増加につなげていく。
指標2	認識度調査アンケート	%	アンケート調査による、重要文化財に関する質問の正答率	—	—	19.2	H22	75.0	H27	22.1	H25	●	事業中であるため、効果は発現していない。	重要文化財をPRするための事業を促進し、市民の重要文化財に対する関心を高め、認識度の向上を図る。
指標3	イベント回数	回/年	平成25年度のイベント回数	—	—	3	H22	7	H27	3	H25	●	事業中であるため、効果は発現していない。	水源池公園周辺一帯の整備を促進し、賑わいを創出することにより、イベント開催機運の向上を図る。

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法と モニタリング値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		モニタリング (エ)		本指標を取り 上げる理由	総合所見	今後の方針
			基準 年度	基準 年度	基準 年度	基準 年度	目標 年度	実施 年度					
その他の 数値指標1													

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

—

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名・組織の概要	
海上自衛隊大湊地方総監部が計測したデータを基に、指標1の目標値の達成状況を把握する。	予定どおり実施した	●	【実施頻度】1回 【実施時期】平成25年度 【実施結果】指標値が改善傾向にあることが確認できた。	毎年度、入場者数の動向を把握していく。
	予定はなかったが実施した			
国指定重要文化財に関するアンケート調査を行い、指標2の目標値の達成状況を把握する。	予定どおり実施した	●	【実施頻度】1回 【実施時期】平成25年度 【実施結果】従前値の19.2%からモニタリング値は22.1%と微増したが、目標値にはほど遠い結果となった。	案内サインの設置、観光パンフレットの作成、市ホームページの充実などにより、市民の重要文化財に対する関心を高め、認知度の向上につなげていく。
	予定はなかったが実施した			
市による計測データを基に、指標3の目標値の達成状況を把握する。	予定どおり実施した	●	【実施頻度】1回 【実施時期】平成25年度 【実施結果】指標値に変化がないことが確認できた。	毎年度、イベント回数の動向を把握していく。
	予定はなかったが実施した			

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名・組織の概要	
対象地区における景観づくりを継続させるための景観ルールを策定するため、市民協働によるまちづくり手法として、ワークショップを開催する。	予定どおり実施した	●	【実施頻度】4回 【実施時期】平成25年度 【実施結果】市民、事業者、行政が共通の目標を持ち、それぞれの役割を認識し、効果的に取り組んでいくための意見交換を行い、「大湊の景観づくりに関するルール」の素案を策定した。	平成26年度に、素案をもとにワークショップ及びパブリックコメントを実施し、いただいた意見を参考にして、景観ルールを策定する。
	予定はなかったが実施した			
	モニタリング時点では実施していない			

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名・組織の概要	
—	予定どおり実施した	—	—	—
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
—	—	—	—

添付様式4-② 効果発現要因の整理

指標の種別		指標1	指標2	指標3	—
指標名		北洋館入場者数	認識度調査アンケート	イベント回数	—
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	道路【市道宇田水源地線】	—	事業中であるため、評価できない。	—	事業中であるため、評価できない。
	道路【市道桜木町3号線】	—			
	道路【市道桜木町4号線】	—			
	道路【市道桜木町5号線】	—			
	道路【市道桜木町9号線】	—			
	公園【水源池公園(管理施設・園路・施設改修)】	—			
	地域生活基盤施設【ポケットパーク、広場、情報板】	—			
	高次都市施設【観光交流センター】	—			
	既存建造物活用事業【地域交流センター(学習センター)】	—			
	既存建造物活用事業【地域交流センター(収蔵庫)】	—			
提案事業	地域創造支援事業【案内サイン】	—	—	—	—
	地域創造支援事業【便益施設(観光交流センター)】	—			
	地域創造支援事業【便益施設(観光交流センター外構)】	—			
	地域創造支援事業【撤去(公園管理棟・小屋)】	—			
	事業活用調査【事業効果分析調査】	—			
	事業活用調査【オープンカフェ社会実験】	—			
	まちづくり活動推進事業【景観ルール策定ワークショップ】	—			
	まちづくり活動推進事業【観光案内パンフレット作成】	—			
関連事業	国道338号大湊Ⅱ期バイパス整備事業	—	—	—	—
	重要文化財建造物公開活用事業【旧大湊水源地水道施設】	—			

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献している。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献している。
- △：完成直後又は事業開始直後のため、効果の発揮に至っていない。
- ×：事業が完了したが、期待通りの効果を発揮していない。
- ：評価できない。

〔未着手又は事業中のため評価できない、事業と指標とに関係がないので評価できない〕

今後の方針等	水源地公園周辺一帯の整備を促進し、観光資源としてPRすることにより、入場者数の増加につなげていく。	重要文化財をPRする事業を促進し、市民の重要文化財に対する関心を高め、認識度の向上を図る。	水源地公園周辺一帯の整備を促進し、賑わいを創出することにより、イベント開催機運の向上を図る。

(4) モニタリングの所見

添付様式5-① まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	モニタリングの時点で達成されたこと (課題の改善状況)	交付期間中に解決すべき 残された課題	交付期間中に発生した 新たな課題
園路や駐車場等のバリアフリー化により、誰もが訪れたい環境を創出する	事業中または事業未着手であるため、達成されていない	—	
売店などの便益施設の整備により、市民や観光客の受入れ機能を向上させる	事業中であるため、達成されていない	—	
石造り建造物を観光資源として活用することにより、交流人口の拡大を図る	事業中または事業未着手であるため、達成されていない	—	

添付様式5-② 総合所見・今後の事業の改善点

総合所見		今後の事業の改善点		
			具体的項目	内容
順調	●	事業の進め方の工夫	—	—
計画・事業の進め方の改善が必要			—	—
一部、進捗が遅れる事業があるが、その他の事業は概ね順調に進捗している。		都市再生整備計画の見直しの必要性	【既存建造物活用事業】 地域交流センター(収蔵庫)	当該建築物について、耐震化の検討が必要となったことから、第三者委員会の設置により、耐震診断及び改修設計の検討を行うこととしている。
			【既存建造物活用事業】 地域交流センター(女子寮)	当該建築物について、歴史的価値が非常に高いと判断され、保存活用についての検討を行う必要が出てきていることに伴い、事業計画からの削除について検討する。

(5) モニタリング原案の公表

添付様式6 モニタリング原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	—	—	—	—	—
広報掲載・回覧・個別配布	—	—	—		
説明会・ワークショップ	—	—	—		
その他	—	—	—		

住民の意見	—				
-------	---	--	--	--	--

(6) 有識者からの意見聴取

添付様式7 有識者からの意見聴取

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署
—	—	—
—	—	—

有識者の意見	—
--------	---